

深日地区福祉委員会通信

第2号 2020年(令和2年)6月1日発行 深日地区福祉委員会(連絡先 ☎492-2098 中村)

明けない夜はない

現在、新型コロナウイルスの影響により、深日地区福祉委員会の活動も自粛を余儀なくされ、ふれあい喫茶も開催することができません。小学生、中学生から高齢者まで楽しく交流できる「ふれあい喫茶」は、確実に深日に根をおろし、今や「深日の『お宝』や」と言う人もいるほどです。じわじわと迫りくる感染の恐怖も、いつかは和らぎ、もとの平穏な日々が訪れるでしょう。その時まで身を守り続け、そして、また深日会館でお会いしましょう。

ふれあい喫茶

毎月第3水曜日 午前10時~12時

1月 二人組 クールセレクト登場!



深日会館にエレキが響き渡る。深日在住の山下さんの情熱的な歌唱とユーモアたっぷりのトーク、激しさの中にも甘い香りが漂う深堀さんのエレキ。二人の絶妙なコンビで会場は大盛り上がり。「ブルーシャトウ」を聞いて若かりし頃にタイムスリップした人も多かったのではないのでしょうか。

2月 大正琴演奏会 & 深日の逆ことば発表会



みんなで健康体操をしました。

「和(なごみ)」のみなさんが奏でる大正琴の音色に、みんな、うっとりとしながらも、「さくら さくら」など春の歌曲を口ずさみ、花の季節を迎える喜びを共に味わいました。

また、「めっぼ、ちっこいわいて」等、深日小6年生による「深日の逆ことば」の発表に、会場は大いに沸きました。この日は参加者が特に多く、小学校の先生も驚いていました。

コロナ感染防止のため6月のふれあい喫茶は中止します

「地域のつながりが救助に貢献」 淡路島研修



1月28日、北淡震災記念公園を訪れ、野島断層を直に見学し、自然の脅威を改めて感じました。(参加者約30名)その後、震災を体験し、当時町長と共に奔走した元公務員の方からお話を伺いました。この公園は「震災の記憶が蘇る」という反対意見がある中、この大地震の爪痕を未来永劫に伝えなければならないという町長の強い意志でできあがったそうです。語り部の話聞き、参加者一同、災害に備える気持ちをより一層強くしたのではないのでしょうか。

楽しさと豊かさの世界が広がる 深日小「昔の遊び&昔の暮らし」

◆「おはじき、あやとり、てんまり」「かるた遊び」そして「こままわし」をみんな体験し、最後に紙飛行機を飛ばしました。(11/14 小1生)

◆うちわであおぐも、くすぶるだけでなかなか炭に火がつかない。ある瞬間、炎があがり歓声があがる。その大切な火で餅を焼き、砂糖醤油でおいしくいただきました。(12/10 小3生)



おはじきとあやとり



「かんてき」で火おこし


深日小学校「このゆびと～まれ」をご覧ください!

スポーツニッポン新聞社の協力で深日小学校の取り組みがインターネット上で連載されています。

「小さな町の小さな小学校で少しずつ始めた改革が、少しずつ学校を変え、地域を変えていきました。」

(第1回 深日小学校と岬町の現状より)

(連載を見る方法)

- ① Yahoo!もしくはGoogleにて「スポニチアネックス」のホームページに
- ② 画面左上のをクリック
- ③ コンテンツの大阪をクリック
- ④ 右のクレヨン図をクリック



◆ 2月、岬中学校3年生の3人が「ふれあい喫茶」修了式で修了証と花束を授与されました。ウェイターという仕事を通じ地域の人たちと交わる中で人と人との関係の仕方を身につけてくれました。

【令和2年度 深日地区福祉委員会の役員を紹介します。】

中村 勲 (委員長) 中村 政男 (副委員長) 出口 正通 (副委員長) 松下 勝文 (副委員長)
川端 修 (書記) 高橋由紀子 (会計) 植野 宏 (監事) 中村 貞彦 (監事)
中出 光子 (常任委員) 立花 笑子 (常任委員) 反保 美喜代 (常任委員) 高木マユミ (常任委員)
太田 久美子 (常任委員) 嘉戸 克美 (常任委員) 川島 志津子 (常任委員) 河野 知男 (顧問)

◆社協会員会費や赤い羽根共同募金等は、当委員会の活動にも活用されています。